

会期 令和元(2019)年 令和2(2020)年
11月2日(土)～1月26日(日)

前売券発売中！

休館日 年末年始(12月25日～1月1日) ※月曜開館

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで
※11月2日は10:00開場

料金 一般 1,400円 (1,200円)

高・大学生 1,000円 (800円)

小・中学生 600円 (400円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぷる～ぷ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開会式情報】

次の通り、「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」の開会式を行います。
報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時：令和元年11月2日(土) 9:30～

場所：広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容：主催者紹介・挨拶、来賓紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

産業革命期、グラスゴーは英国随一の港湾都市として栄えました。ウィリアム・バレル(1861-1958)は、この地で家業の海運業に携わり、船舶の売買により巨額の富を得て、「海運王」と称されます。彼は古今東西の美術作品の収集に努め、9000点を超えるコレクションを形成しました。

それらの作品は、1944年にグラスゴー市に寄付され、1983年には美術館「バレル・コレクション」が開館しました。本展では、バレルの膨大なコレクションとケルヴィングローヴ美術館(グラスゴー)の名品の中から、バルビゾン派や印象派などのフランス絵画、その影響を受けたスコットランドやオランダの画家たちによる選りすぐりの80作品を展示。写実主義から印象派へと至る流れをクールベ、ドガ、ルノワール、セザンヌやゴッホらの傑作を通じて辿ります。



45歳頃のウィリアム・バレル

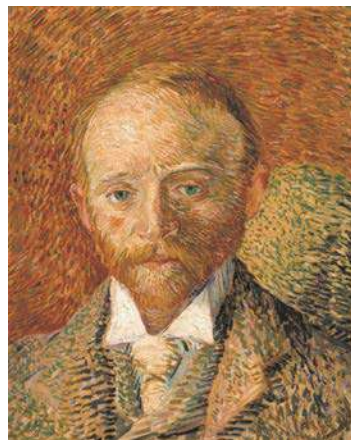


美術館「バレル・コレクション」

【展覧会の構成】

序

少年時代から美術に関心を持っていたバレルは、15歳で実家の海運業を手伝うようになり、既にその頃オークションで絵画を購入していたといいます。当時、工業と海運業により大きな繁栄を遂げていたグラスゴーは、フランス絵画の一大マーケットであり、有力な画商が多く活躍しました。その一人で、バレルのコレクション形成に尽力したのが、敏腕画商、アレクサンダー・リード(1854-1928)です。リードは、パリでゴッホの弟テオと同じ職場で働いており、彼ら兄弟と同じアパートマンで共に過ごしていました。



フィンセント・ファン・ゴッホ《アレクサンダー・リードの肖像》1887年
ケルヴィングローヴ美術館

1章 身の回りの情景

バレルによる作品収集の一つの特色として、落ち着いた雰囲気での身の回りの情景を描いた作品を好む傾向が挙げられます。静物画を含むこうしたテーマは、17世紀のオランダで発展し、19世紀フランスに引き継がれました。少年の頃からビジネスの世界に身を置いたバレルにとっては、そうした絵画のなかの静寂の空間が、心癒される場所であったのかもしれません。本章では、人物、果物、花など、部屋の中の静謐かつ親密な情景が描かれた作品群をご紹介します。



フランソワ・ボンヴァン《スピネットを弾く女性》
1862年



エドゥアール・マネ《シャンパングラスのバラ》
1882年

2章 戸外に目を向けて

産業革命が進むヨーロッパでは都市に人口が集中し、そこに暮らす人々の生活が主要な画題となりました。一方で、都会の喧騒を逃れて郊外に制作の場を求め、日常的な風景に新たな美を見出す動きも生まれます。とくに写実主義から印象主義へと至るフランス絵画の流れの中で、大都市パリから足を延ばしやすい田舎、バルビゾンやフォンテーヌブローの自然は欠かせないものであったといえるでしょう。本章では、家の外、街中、郊外へと戸外に広く目を向けて、その景色や、生活・仕事を営む人々、動物を描いた作品群をご紹介します。



エドガール・ドガ《リハーサル》
1874年頃



ピエール・オーギュスト・ルノワール《画家の庭》 1903年頃
ケルヴィングローヴ美術博物館

3章 川から港、そして外洋へ

産業革命の中心となったイギリスは、国内における汽船の量産体制が整っていたこともあり、世界最大の商船規模を擁し、物流の覇権を握っていました。中でもスコットランド南西部の都市グラスゴーは、立地上、他国との交流が盛んであり、工業都市として目覚ましい発展を遂げます。そうした都市にあり、バレルは時流に乗じた船舶の売買で、大成功を収めました。「海運王」と呼ばれた彼にとって、水辺の風景を描いた絵画は特別な感慨を持って眺めるものであったと想像できます。本章では、港や海への想いが人一倍強かったであろうバレルが収集した海景画を中心に、水辺の景観を描いた作品群をご紹介します。



ウジェーヌ・ブーダン《ドーヴィル、波止場》1891年



ギュスターヴ・クールベ《マドモワゼル・オーブ・ドゥ・ラ・オルド》1865年

※所蔵先の記載がない作品はすべてバレル・コレクション
© CSG CIC Glasgow Museums Collection

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

press release

【関連イベント】

記念講演会（共催：広島県立美術館友の会）

「バレル・コレクションにおけるリアリズムと印象派—フランス近代美術のコレクターをめぐって—」

日時：11月10日（日） 13:30～15:00 [開場13:00]

講師：三浦篤（東京大学教授）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

記念シンポジウム

「印象派をめぐる都市の夢 グラスゴー、パリ、ハーグ」

日時：1月12日（日） 13:30～15:30 [開場13:00]

講師：古谷可由（ひろしま美術館学芸部長）、川口佳子（長崎県美術館学芸員）、山下寿水（当館学芸員）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

美術講座

①「夢のコレクション—オランダ、スコットランドの画家たち」

日時：12月21日（土） 13:30～15:00 [開場13:00]

講師：山下寿水（当館学芸員）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

②「フランス近代絵画の旅—コローからセザンヌへ」

日時：1月11日（土） 13:30～15:00 [開場13:00]

講師：森万由子（当館学芸員）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

学芸員によるギャラリートーク

日時：11月15日、29日、12月6日、20日、1月10日、24日（金）

各日：11:00～、18:00～

場所：3階企画展示室

※事前申込不要

※入館券をお求めの上、3階会場入口付近にお集まりください。

press release

印象派への旅
バレレコレクション

ロビーコンサート

「音で巡る印象派」

演奏者: 木村紗綾(ヴァイオリン)

日時: 12月22日(日) 12:00～

場所: 1階ロビー

※事前申込不要 ※鑑賞無料

写真撮影コーナー

展示室内では、一部作品の写真撮影が可能です。ロビーでは、ドガの名作《リハーサル》のバレリーナになりきって撮影できるコーナーをご用意。カメラをご持参ください。

謎解きゲーム(協力: 広島大学 ナゾサークルおにらび)

「Message from Glasgow」

バレレ・コレクション展の世界観をもっと楽しめる、そんな謎解きはいかがでしょうか。

日時: 11月2日(土)～12月24日(火)

参加費(キット代): 500円

キット販売場所: 1階総合受付

※要入館券 ※事前申込不要

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「印象派への旅 海運王の夢 バレレ・コレクション」の会期中、3館で相互割引を実施！

下記いずれかの特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、本展当日料金より100円割引。

詳しくは各館にお問い合わせください。

※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館(南区比治山公園1-1/TEL 082-264-1121)

インポッシブル・アーキテクチャー もうひとつの建築史 2019年9月18日(水)～12月8日(日)

アカルイ カテイ 2019年12月21日(土)～2020年3月1日(日)

ひろしま美術館(中区基町3-2[中央公園内]/TEL 082-223-2530)

岸田劉生展 写実から、写意へ 2019年11月9日(土)～2020年1月13日(月・祝)

press release

印象派への旅 バレルコレクション

【開催概要】

メインタイトル：印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション

英語名：The Burrell Collection: A Voyage to Impressionism. Vision of a Great Shipowner-collector

料金：一般 1,400(1,200)円 高・大学生1,000(800)円 小・中学生600(400)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をご購入、ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者
(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード 078-280)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、毎日新聞社

協力：日本航空

後援：ブリティッシュ・カウンシル、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、

FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛：大日本印刷、大田鋼管、広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 山下 寿水、森 万由子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる